

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮沢 吉浩
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	246-9000
事務事業名	4142 ごみ処理施設運営事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費									
	事業	030000 ごみ処理施設運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
<p>市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。</p>						<p>不燃ごみの適正処理及び資源物を分別リサイクルし、循環型社会の形成を促進する。また、焼却停止に伴う、ピット内の清掃、設備の一部撤去等を実施するとともに、不燃ごみ処理施設の必要な修繕等を実施し、安全で適正なごみ処理を行う。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。また、粗大（不燃）ごみ処理施設の改造工事の準備をする。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。また、粗大（不燃）ごみ処理施設の改造工事を実施した。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。焼却施設の廃止に向け、ごみピット内の残渣物処理、残留薬品の処理等を実施する。

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		58,740	69,497
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	5,200	0
	その他	31,374	1,500
一般財源		22,166	67,997
人員数(人)	正規職員	3.2	3.2
	嘱託職員	3.0	3.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	23,248.0	23,248.0
	嘱託職員	8,487.0	8,487.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	31,735.0	31,735.0
市民一人当たりの経費		1.7	1.9
総額		90,475.0	101,232.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	23,480	消耗品費3,524、燃料費1,378、電気料14,829、修繕料3,749
13節 委託費	8,313	測量設計委託料810、施設管理委託料380、保守点検委託料506、その他委託料5,690、シルバー人材センター委託料927
15節 工事請負費	6,156	粗大ごみ処理施設改造工事6,156
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	20,791	土地借上料5,163、嘱託職員報酬12,898、嘱託職員社会保険料2,206、手数料466、原材料費58

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	25,525	消耗品費3,500、燃料費970、電気料16,000、修繕料5,000外
12節 委託費	21,277	灰污泥処分委託料3,250、不燃残渣物等収集運搬委託料3,850、ごみピット内残留物集積委託料3,090、焼却施設薬剤処分委託料2,290外
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	22,695	土地借上料5,163、会計年度任用職員給料9,371外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	廃棄物を適正に処理するうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	廃棄物の処理について、継続して適正な処理を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	廃棄物処理について、安全で適正に行うためには、相応の費用負担を伴うことからコスト削減は難しい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

可燃ごみの広域処理後も継続して不燃ごみの適正処理を行うため、不燃ごみ破碎処理後の可燃物を一時保管するための改造工事を実施した。今後更に施設及び設備が老朽化していくため、更新の検討が必要である。

